



＝ライオンズクエストのあらまし＝ (文 部 科 学 省 認 可)

■ 1984年 ライオンズクラブ国際協会が、クエストインターナショナルセンターと共同して「思春期のライフスキル教育」を思春期前期の青少年教育用に開発した。(※現在、NPO青少年育成支援フォーラム≪J I Y D≫に改称)

■ 2000年 330複合地区は、「ライオンズクエスト日本導入パイロット地区」として、四大交付金20万ドルを得て、日本語教材・日本人の育成に着手した。

四大交付金とは

- ① 障害者支援 (※ハビタット・フォー・ヒューマニティによる失明者または、障害者のホームの建設。
※スペシャル・オリムピックス選手の眼科医療ケア。)
- ② 健康促進 (糖尿病予防と治療。)
- ③ 青少年育成 (ライオンズ・クエストの拡張。)
- ④ 視力保護 (理事会によって現在、事業協議中。)

■ 2002年 ライオンズクラブ国際財団(LCIF)は、ライオンズクエストの諸権利を買い取り(担当課⇒ライオンズクエスト課を設置)、名実共にライオンズの教育プログラムとして、その普及・拡大に努力している。

種類は3種

- ① 幼稚園児～小学生4年生用(5才～9才)
- ② 小学校5年生～中学校3年生用(10才～14才)
- ③ 高校生用(15才～18才)

【クエストの意味・・・もう1回】

※ワークショップ(2日間/集中研修)

ワーク・・・学ぶ ショップ・・・始める

※フォローアップ(1日間/講義内容をより濃くする為)

フォロー・・・補う アップ・・・向上心

＝ライオンズクエスト・プログラム説明＝

① この「ライオンズクエスト・プログラム」とは、思春期の主に中学生が自尊心を高め、責任感のある、そして自分も大切にす健康的な人間に成長するために必要な「生きる力」を養う教育プログラムである。

② 「生きる力」ライフスキル（＝心の力）教育とは、生徒達が日常生活で生じる様々な問題や困難を建設的に解決して乗り越えていく能力、そして周囲から悪い誘いを断り前向きで健康的な生き方を育む教育である。

③ 更に、この「ライオンズクエスト・プログラム」の学習を通して、生徒達が特に身につけることは、善良な人間関係を築く力、前向きで物事を正しく判断する力、他者とのコミュニケーションの取り方、飲酒、喫煙、そして薬物乱用の誘惑に対処する力等であり、生徒自身が問題点を考え、発言して「生きる力」を身につける生徒参加型、実践型の学習プログラムでもある。

【ライオンズクエスト説明員の活用】

更なるクエスト事業拡大の為、各クラブ例会等においてクエスト説明員による説明会の計画をいただきたく、活用（要請等）の際の連絡は、必ずキャビネット事務局へ

R	（ 説 明 員 / 氏 名 ）	（所属クラブ）
■ 鹿 児 島 R	L.吉 村 千鶴子 L.本 田 洋 L.本 田 ゆかり	鹿児島さつまLC
	L.小 村 亮 太 L.松 元 一 広	指 宿 LC
	L.坊 農 美智子 山下 勝志 先生（米ノ津中学校校長）	出 水 LC
	L.戸 内 恭 次	名 瀬 LC
■ 沖 縄 R	L.外 間 宏 治 L.屋比久 里 美	北 谷 LC